

うような事例等も参考にしながら必要な対応を検討して対応を図ってまいりたいと考えております。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 予算委員会ですので、総務管理費の340万円から行く方法しかなかったもので、総務参事に矢面に立っていただきましたけども、若干の反省どころじゃなくて、大いに反省していただいて、もうきょう管理職の皆さんそろってるわけですから、管理職で予防接種しなくて罹患したという方もいらっしゃるんですよ。何というていたらくでしょうかね。やはりそれはもう共有していただいて、公務員というのはどういう仕事かと、基本を忘れている。職業意識の欠如ですので、研修等も含めてやはりやっていただきたいなというふうに切望いたしまして質問を終わります。ありがとうございました。

○蒲生光男委員長 ここで昼食のため暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午前11時35分 休憩

午後 1時00分 再開

○蒲生光男委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

なお、渡部秀樹委員から早退させてほしい旨の申し出があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

それでは、総括質疑を続行いたします。

梅津善之委員の総括質疑

○蒲生光男委員長 順位7番、議席番号9番、梅

津善之委員。

○9番 梅津善之委員 3月定例会の予算総括最後ということで、お疲れのところと思いますが、最後までよろしくお願いいたします。

きのう南北中学校の卒業式がありまして、非常に毎年でありますけども、感動して涙が出てくるんですけども、ぜひ将来の子供たちに負担を残さないような思いを持って予算総括に臨んでまいりたいと思います。

通告に従いまして質問したいと思います。

まず1点目、公共施設整備計画の前期計画で示されている111億円のこれからということで、予算の2款総務費、1項の公共施設整備等事業ということで、新庁舎整備基本計画策定支援業務委託料と公共複合施設整備基本計画策定支援業務委託料ということでお聞きしたいと思います。

一般質問でも同じようなことを聞いておりますけども、さらには宇津木委員の予算総括でもありましたが、もう一度大きく4つということでお示しされている中身と111億円の中身を公共施設整備課長にお尋ねしたいと思います。

○蒲生光男委員長 桐生芳弘公共施設整備課長。

○桐生芳弘公共施設整備課長 お答えいたします。

整備計画で想定している概算の金額につきましては、市庁舎が30億円、子育て複合施設が23億円、長井小学校管理棟が6億円、それから市民文化会館として15億円と想定してるところでございます。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 111億円の中身ということで大きな4つということでありましたけども、足し算すると74億円となります。

そのほかの部分については具体的にあればということで公共施設整備課長にお願いしたいと思います。

○蒲生光男委員長 桐生芳弘公共施設整備課長。

○桐生芳弘公共施設整備課長 公共施設整備計画

で示しております概算事業につきましては、建築物の新築とか改修、改築のほかインフラ等の事業費も含んだ数字でございます。残りの先ほどの4施設以外の事業費につきましては、これらのインフラの事業費、それから整備期間が平成28年度からの5年間となっておりますので、28年度に事業しました観光交流センターとか平野小学校の校舎の改築とか、そういうものも含まれた数字がほかの残りの金額に含まれたものでございます。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 今のお話ですと平野小学校の大規模改修や観光交流センターもこの111億円には入っているというこの理解するところでございますけども、3番目、大きな市庁舎と子育ての複合施設ということで、面積、おおむねの面積だと思いますけども、この辺はどのようにお考えでいらっしゃるか公共施設整備課長にお尋ねします。

○蒲生光男委員長 桐生芳弘公共施設整備課長。

○桐生芳弘公共施設整備課長 具体的な面積等については、平成29年度に予定しております基本計画の中で具体的な場所や面積については検討していきたいというふうに考えているところでございます。

ただ、場所としては交通の利便性や中心市街地の活性化との観点から長井駅周辺の土地の活用を考えていますが、市の所有する用地というのは少ないものですから、まとまった土地がないために民間の土地を活用お願いしたいというふうに考えておりますが、具体的な数字については先ほど申し上げましたように基本計画の中で検討してまいりたいというふうに思います。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 これからの基本計画の中で具体的に検討していくということでございますけども、これちょっと市長にお伺いします。ことし基本計画策定支援業務委託料を計上され

ておりますけども、今、公共施設整備課長からは駅周辺なんという具体的なこともございましたし、場所、もちろん面積もそうなんですけども、非常に大切なことだと思うんですけども、その辺の考えを市長にお伺いしたいです。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 場所の考え方についてですよね。面積的には、市役所の庁舎、どのぐらい必要面積として一般的に考えられるのは1万平米から1万2,000平米ぐらい、それから公共複合施設はやっぱり同じ程度、1万2,000平米から、これ広いほどいいんでしょうけども、そのぐらいは最低必要だろうと、両方ともですよね。

そうしますと中央地区といいますか、中心市街地活性化の区域につくることが大前提でありますし、公共複合施設はそ中でないとつくれませんので、補助受けられませんので、したがって、場所はおのずと限られてくるということで、駅周辺の民間の土地などを活用させていただくしかないだろうというふうに思っております。まず29年度に入りましてから、場所が最後まで決まらないともめるもとでございすんで、このところをできるだけ早目に合意を得られるような、そんな方法をとっていききたいと考えております。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 駅周辺ということで、今までも複合施設であるとか市庁舎は、今回のハザードマップのこともありまして、この場所からはという話で何となく想像できるわけでございますけども、今回の整備計画の中には土地代金は入っていないというふうな考えで、これは宇津木委員の質問にもそう答えられておりますけども、その土地代金というのはどのぐらいを想定されているか、それは市長にお伺いしたいですけど。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 それも含めて29年度に入ってから

らじゃないでしょうか。今の段階で場所決まなくて、用地代幾ら幾らということではないんでしょうけども、おのずと中心市街地の基本計画の区域内ですと、不動産鑑定を図って、そして条件がそれぞれあるわけですね。例えば上物が全く建ってないところでしたら土地代だけ、上物を、例えば建物があって、それに人が住んでおられたり、会社とかお店とかなさってる場合だと今度建物の補償とか、あるいは営業補償ということが出てまいります。ただし、観光交流センターみたいに使ってない建物については取り壊し費用を土地代から差し引くということです。ですから、条件によって違うもんですから、そのところ今の段階で幾らぐらいかというのはなかなか難しいのかなと。ただ、ある一定程度はこれは見なきゃいけないというふうには考えております。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 わかりました。

今の段階ではという話でございますけども、なかなか公共用地にしていくというところの民間の土地の値段をどうこうなんてというのはなかなかというのは私も理解できる場所ですけども、111億円、具体的には74億円の概算という話の、4つの施設でということでございますけども、補助金を活用していくということ、市町村役場機能緊急保全事業であるとか、緊急防災・減災対策債であるとかという考え方を、それも当然今年度中に検討していくというような形になると思うんですけども、もちろん有利な補助金というのは当然私も理解できる場所です。

ただ、補助金だって申請して採択までには十分時間がかかると思いますし、その辺の考え方は総合政策課長はどのように考えていらっしゃるか、ちょっとお聞きしたいですが。

○蒲生光男委員長 竹田利弘総合政策課長。

○竹田利弘総合政策課長 お答えいたします。

市の施設整備、市の事業一般でございますが、補助金につきましては、市の考え方としましては、とにかく有利な補助金、起債等もあれば全てそれは利用していくという考え方でございます。

ただ、まだ具体的に施設の内容まで固まっていない時点で各省庁等に問い合わせることは不可能ですので、もう少し構想が固まった時点で国、県等と幾らでも有利なものがないか検討していきたいと思っております。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 わかりました。

それでは、(1)の最後のタウンセンターの市庁舎に一部入るという可能性はという話を市長にお伺いしたいんですけども、ここ4年のうちで、例えば市庁舎なり総合施設ということの検討なされている現在の中で、タウンセンターの中に一部市庁舎が入るという可能性は、もうこの3月時点で市長はどのようにお考えか、ちょっとお聞きしたいですね。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

昨年の6月の定例会でタウンセンターの2階に入る場合の建築確認とか、あるいは設計等々基礎的な部分の補正予算お認めいただきまして、そして所有者である民間会社のほうにその旨を伝えて、ただし、条件としては1階の部分にキーテナントのスーパー等々が入った場合ということでお話をしてきたところですが、現段階でまだ確定してございません。したがって、6月にせっかくお認めいただきました予算のほうが使えないような状況でございますので、どういう状況があろうともすぐに私どもが入るということはまずはないということになるかと思っております。

また、入ったとしても新しい庁舎ができるまでの4年間でございますので、これは最初から申し上げてるんですけども、その場合、例えば

入るための工事費が膨大な金額になったり、あるいは賃料については最初、会社の維持と固定資産税の部分から差し引いて本当にあんまり負担のかからないような形で考えてるというお話だったんですが、それが高い金額であればやっぱりこれは別途検討するということもあろうかと考えているところです。

したがいまして、今の段階ではタウンセンターに私どもが入るというのは日がたてばたつほど難しくなるのではないかなと考えております。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 なかなか難しいということでございます。

これは全体として市長にお伺いしたいんです。どこを見てもというか、公共事業を、隣町もそうでしょうし、隣の隣町もそうですし、一斉に有利な補助金を目指して事業に着手されるようなお話を聞いておりますと、3月に完成する観光交流センターもそうでしたし、鶴岡の文化会館もそうでした。入札が不調というふうなことが十分に想定され、なかなか思ったような金額ではおさまらないんでないかという話も心配されるところでありますけれども、その辺については市長、どのようなお考えでいらっしゃるかお聞きしたいと思います。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 梅津委員おっしゃるとおり、東日本大震災から6年、7年目に入るわけですが、随分落ちついたとはいえまだ東京オリンピック・パラリンピックまでは建設業界がかなり忙しいと、ラッシュだということから委員おっしゃるようにまた建設費が上がる可能性もやはり否定できません。

したがいまして、建築費がどんどんどんどん底なしのようにふえ続けるなんていうことは、絶対これあってはならないことですので、ここについては例えば普通の基本設計、実施設計、着工といいますか、あとそれに基づいて業者さ

んの入札、決定という通常の方式ではなくて、さまざまな方式今あるんですね。DBOのスタイルであったり、今、ちょっとごめんなさい。正確な言葉言えないので、あんまりよくわかってないことは言いたくない、言っちゃいけないんですけども、例えばデザインなんか最初、基本計画を立てる際からコンペ方式で、間にコンサルを入れて、最初から条件つけるんですね。庁舎だったら30億円と。30億円の中にはこういったものが入ってますと。入っていないものはこのぐらいです。そういった中でまず基本設計を組む際にちょっとコンペ方式でコンサルタントかませまして、何社かの中ですぐれた者にとると。とったところが基本設計から実施設計もやりますと。

実施設計組んだ後で今度は業者さん、組む段階で今度は建設会社とか設備会社を今度は組ませて、それでまたもう一回設計も、いわゆるちょっと民間のPFIみたいな格好で少しでも期間を短く、なおかつコスト削減できるように設計の段階から設計会社と同時に建設会社も入れるやり方があるんですね。そういったところをコンサルタントが全部管理して無駄のないようにやっていくというやり方などが今、高騰する工事費を適正化するために使われているようですので、そういったことの一例があるんですけれども、いろんな方法を私ども模索しながら、29年度中に基本設計というのは大部分でございます。実施設計まで行くのは文化会館ぐらいでありますので、その中でどういうふうな方法とっていくか検討してまいりたいというふうに思います。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 やっぱ将来にできるだけ負担の少ないように、もちろん補助金の活用もそうでしょうけども、経費の面から見ても身の丈に合ったものをするというような考えで取り組んでいただきたいということと、以前から見て

は確かに公債費も減って、これからも減っていくんだと。だが、それを背負っていく人口も減っていくわけです。そうでないことを一生懸命取り組んでいることも重々理解するわけですが、将来に負担のないような考え方で進めてもらいたいなと思っております。

では、次の小さな（２）のほうの長井小学校の第一校舎の活用ということでちょっとお聞きしたいと思っております。

これは28年度補正予算でも内谷議員のほうから質問があったわけですが、どう見ても駐車場のことをちょっと心配しないわけにはいかなくて、そのことについて竹田総合政策課長にちょっとお伺いしたいと思ってます。

○蒲生光男委員長 竹田利弘総合政策課長。

○竹田利弘総合政策課長 お答えいたします。

過日行われました平成28年度補正予算に係る予算特別委員会の内谷委員からの同様の質問にもお答えいたしましたが、一般の皆様が利用する駐車場につきましては、現在の第2庁舎の西側駐車場と、第2庁舎を取り壊した後はその跡地を使用することを想定しております。

ただ、そこでも多分絶対的に足りないと思いますので、本庁舎南側の駐車場への誘導も十分に考えております。

それとあとまた観光交流センター、道の駅川のみなと長井を利用なさる方には、できる限り観光交流センターの駐車場から徒歩でいらしていただきたいと存じております。

これなぜかと申しますと、建物のいわゆる利用だけを考えますと入り口近くに駐車場があったほうが良いというのは当然でございますが、第一校舎の前は長井小学校のシンボルの一つでもあります慈愛の森となっており、登録有形文化財の校舎と一体で長井のよい雰囲気を醸し出しており、慈愛の森を歩いて散策しながら、その雰囲気を楽しみながらぜひ校舎に入っていたきたいものと考えております。

なお、高齢者とか障害者の駐車場につきましては、校舎の出入り口付近にその分だけは設けたいというふうに考えております。以上でございます。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 内谷議員の質問にも同じような答弁していたとも私もお聞きしておりますけれども、やっぱりどう見ても若干というか、不安要素であることは間違いないと思います。第2庁舎取り壊したり、もちろんここの市役所庁舎とかというのは先の話であると思いますし、なかなか安全面とかを含めた中で、もうちょっと駐車場は考えてやったらいいんじゃないかなと思っておりますし、具体的にこうだなんて私は申し上げられないんですけども、その車でお見えになる方が果たして道路を横断して散策しながら長井小学校に入っていただけるかどうかなんていうのもなかなか難しいんじゃないかなと思っております。ぜひいろんな形で検討されることをお願いしたいと思います。

次の民間活用の考え方はということで、2月25日にシンポジウムということで、私もちょっと時間なかったんですけども、最後までいれなくて大変申しわけなかったんですが、市長も当然参加されて、お話がありました。大変すばらしいなと思って私もお聞きしておりましたし、廃校舎を利活用した各地、当然山形市であったり、さまざまなケースの紹介があって、非常に私、思いがあるのは、地域に小学校がなくなるということがどれだけ地域にとって影響があるかということをやっぱり地域全体として思いを寄せてるというのが感じられたと思っておりますし、もちろん行政施設として活用してらっしゃるところであったり、民間の施設として活用してらっしゃるというさまざまなケースがありました。

市長は、もちろん民間でというお話を思っ

っぱり全体として何とかしていくべという思いが募っていかないとなかなかうまくいかないことではないかなと思っておりますし、もしくはほかの企業であるとか、もちろんその当時はNDさんの社長さんもお見えになっていらっしゃるし、さまざまなそういう活用する方々のお知恵を拝借しながら利活用していくということでない、さまざま耐震化も免震化もしたけども、利活用はどうなんだということを心配しているんです。その辺の考え方を市長にお伺いしたいんです。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 考え方ですか。要はあそのシンポジウムを聴講いただきましたんで、わかったと思うんですが、市で運営ということは、これは地方創生では対象にならないんですね。なぜかという、市のほうでは施設をつくりですけど、運営は少なくともその維持するための経費をいただくということも難しいだろうと。したがって、活用の仕方については、国のほうでは稼ぐと言ってます。でも私どもは稼ぐというところまで行かなくても、少なくとも収益は上げられなくともまずは維持管理できるぐらいのお金がやっぱりそこで生み出せないと続けられないということですね。マナビノタネの森田社長と、あと三菱総研の方なんかもおっしゃってましたよね。

したがって、私どもでやった場合は、なかなか難しいわけですね。市民の方々からお一人、じゃあ、これ、この講座受けるに何千円とかいただきますというのは、なかなか今まであんまりやってきてないので、連続した講座なんかですと公民館とか、あるいは文化生涯学習課なんかで会費制でやったりとかでやってますけども、そういった意味ではあその第一校舎を生かす場合も行政がやるというのではなくて、行政が施設をまず整備はいたしますけれども、その維持運営の部分については民間の皆様の力をお

かりしてこれを持っていけるような仕組みをつくっていきたい。

したがいまして、アイデアもいただくと同時に、アイデアをいただいたとしたら一緒に上もかかわっていただきたいと。私はこう考えるからと行政でやりなさいと、こういうのでは、もうそういう施設ではないだろうというふうに考えておりまして、したがいまして、これからが問題ですけど、28年度市民のアンケートをとったり、あるいは利用の仕方のたたき台みたいなもんつくるわけですから、29年度、工事は入りますが、どういうふうな使い方するかについてはまだ決まってないわけですから、そこを十分皆さんの意見をいただいて、そしてそれを運営、ぜひやってみたいという会社とか団体とかそういったところを私どもも呼びかけて協力いただくと、そして中身を最終的に詰めていくということかかないと通常のやり方だけでは難しいのかなと思います。ぜひその辺のところを梅津委員からもご意見とかご提言をいただければと思います。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 一番心配しているところなんです。やっぱり廃校舎、長井小学校第一校舎は廃校舎ではないというか、文化財であって、その利活用ということで今回の地方創生の交付金をいただいてというような話だと思いますけども、やっぱり大切なのは地域住民の思いであるとか、ここ何とかしなねと。いや、文化財残さんなねごとと、それでもなかなかこういうふうなで協力したいなというのをたくさん市民の方からやっぱり出てきていただいて、その中でいろんな話がされることを私は望んでいるし、そう願いたいと思います。なかなかそうでないと大変だなという気持ちがあって、そこがすごく自分の中ではひっかかるところです。

どんな利活用があるか、それはもちろん市民の思いが最優先されて、民間で利活用していく

ことがすごく大切であるという市長の考え方もわかりますし、そいつをいかに取り巻いて、いかに誘導していくかということが大事だと思うんです。その辺は市長、どういうふうに、こうしていくんだというのあれば教えていただきたいなと。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 梅津委員がおっしゃることは理解もできる部分はあるんですが、例えば最近の例ですと、小桜館というのあるんですね。小桜館については、やはり補助事業使いまして都市再生整備計画事業、当時はまちづくり交付金事業を使いまして、外観とか、ある一部は復元したりして、最終的には国の登録有形文化財になるぐらいだと。ただ、それを整備するにはさらに1億円ぐらいかけないと難しいというような話がありましたけども、あれは補助事業で建ててやってるんですけども、あれを例えばお店として使いたいとか、何かいろいろ民間のNPOの皆さんの考え方なんかもあったんですね。あとは地区の公民館として使いたいとか、いろいろあったんですが、それはちょっと難しいだろうということで今の使い方になったんですね。今の使い方だともったいないですよ。

ですから最初からやはりどう使うかということを、それ一人一人の思いはあるんでしょうけども、例えば補助事業じゃなくて、あれ免震なんてしなくてあのままで何もお金かけなくても使えるんだったら、やっぱりそれはもう学校の延長でそれこそ市民の皆さんに一部ここは開放しますと。ただ、利用規程ちゃんとつくんなきゃいけないでしょうけど、そういうんでしたらいいんですよ。

ただ、それを残念ながらあのままではもう朽ちてしまうと。したがって、数億円の補助をもらいながらこれやっていくんだといった場合は、今度使い方を今までとは考え方変えないと残念ながらこの交付金を受けられないということで

頭悩ませているわけなんですけども、むしろ小桜館の例から言ったらいいチャンスじゃないかというふうに私は思ってますね。ですから市民の皆さんの思いとかってわかるんですが、それはやっぱり現実的にビジネスとしてある程度成り立つようなことと同時に、市民の皆さんの思いとか、あるいは長井小学校の長井市の教育、長井の心の原点だというそういった市の貴重な文化財だということを考え合わせてどういうふうに活用するかというふうに考えていかないと市民の思いだけでも難しいというふうに私は思いますね。残念ながらそういう時代なんですよ。

それが市民の思いだけでできるんだったら、補助事業なんか使わないでそのまま使える施設だったら地元の施設だったらそれはそれでいいんでしょうけども、決してそういうような状況ではないということからちょっとやはりもう1年、2年議論しながら、オープンは3年後ぐらいになるわけですから、時間はたっぷりありますんで、そう簡単にはこの仕組みというか、できないものだと思っております。

○蒲生光男委員長 9番、梅津善之委員。

○9番 梅津善之委員 やっぱり一番大切なところだと思います。できるまで3年かかるということでございますけども、もうスタートしているというか、何とがしていがんねという方向に行ってるわけなので、ぜひ早いうちからいろんな議論を踏まえながら市民の利活用ができるような施設になってもらいたいと私は反対しながらも心配して思っているわけです。そこが納得いかないもので、自分ができる自信があれば何も、はい、賛成だと、こう言いたいんですけども、決してそうでないから心配をして思っているわけです。市長がそういうふうに頑張っていくんだという気持ちは、そりゃわかんなくもないけども、できればあわせてその3年の中でよかったなと思えるような施設になってもらえ

ることを私も願っております。以上です。

○蒲生光男委員長 以上で通告による総括質疑は終わりました。

これから各会計予算の細部審査に入ります。

なお、質疑に当たっては、答弁者並びにページ数をお示しの上、お願いいたします。

議案第1号 平成29年度長井市一般会計予算についての質疑

○蒲生光男委員長 それでは、議案第1号 平成29年度長井市一般会計予算の1件について、歳入から順次質疑を行います。

まず、1款市税から12款使用料及び手数料について質疑を行います。

一般会計予算事項別明細書では11ページから19ページまでであります。ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○蒲生光男委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、13款国庫支出金から20款市債について質疑を行います。

19ページから32ページまでであります。ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○蒲生光男委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、歳出の審査に入ります。

まず、1款議会費、2款総務費について質疑を行います。

33ページから54ページまでであります。ご質疑ございませんか。

1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 1番。45ページの2款1項7目の002情報系システム整備推進事業の

ホームページ改修業務委託料664万8,000円について伺います。これはどのような改修をする目的で計上されているものでしょうか、地域づくり推進課長に伺います。

○蒲生光男委員長 松木 満地域づくり推進課長。

○松木 満地域づくり推進課長 この歳出につきましては、5年間のホームページの契約というようなことで、29年度で切れるというふうなことで、ただいまデータシステム米沢のほうに委託をしておりますが、これが30年から更新になるということで、その改修を行うということでございます。ホームページについていろいろご意見もございますので、ごらんいただく方が見やすいようなそのようなホームページもつくり込みをしながら30年度から改修をしていくという中身でございます。

○蒲生光男委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 いろんな意見を踏まえて見やすくすることをしていきたいというふうなことで、このホームページを使って交流人口の拡大につながるような検討ができないか質問したいと思います。ホームページを使って人を呼び込む仕掛けができないか。楽しむ観光だけではなく、修学旅行、社会見学、視察を市内に呼び込む、長井市の特色のある事業や施設の紹介なんかを目立つようにホームページでできないかと。例えばですが、レインボープランはもとよりですが、再生可能エネルギーの施設見学、寺泉地区を中心に非常にコンパクトに集まっていますメガソーラー、木質バイオマス発電、小水力発電、それから考えられるのが、地味ではありますが、ミニデイが日本一の事業やっております。31カ所で約1,600人の利用があるという、あと3つ目として考えられるのが伊佐沢小学校中心とした小学校の英語教育、それから4月1日から開始されるベビーボックスと、それから平成29年度補正予算（第1号）の国語力増進事業なんかは、これらの事業は全国に誇れ